



カンヒザクラ

学名	Prunus cerasoides ver. Campanulata
科名	バラ
別名	ヒカンザクラ
区分	まちかど しょうぶつ 街角の植物
分布	たいわん ちゅうごくなんぶげんさん おきなわ 台湾、中国南部原産、沖縄で やせいか 野生化

説
明

1月から2月ごろ緋赤色の花を咲かせ、日本一早い桜の開花となります。ソメイヨシノのように花弁が散ることはなく、花ごと落ちるかまたは枯れたまま残ります。沖縄に自生する落葉の高木で、石垣島には現在も自生種生息地があり、国の天然記念物に指定されています。

葉の形	だえんけい ちようだえんけい 楕円形、長楕円形
葉の縁	きよし 鋸歯
葉の先	びじょうけい 尾状形
葉の種類	たんよう 単葉
葉の付方	ごせい 互生
葉の基部	えんけい 円形
実の種類	かくか 核果
花・萼色	ひせきしよく 緋赤色